

透き通る神秘の泉



支笏湖

HOKKAIDO LAKE SHIKOTSU



【ジェイビーゼロワン】
特別編集版

TAKE FREE ¥0





[ジェイビーゼロワン
特別編集版]

透き通る神秘の泉

支笏湖

HOKKAIDO
LAKE SHIKOTSU



04 | **支笏湖の四季**

12 | **支笏湖—透き通る神秘の泉**

18 | **支笏湖周辺の自然**
 苔の洞門
 オコタンベ湖
 恵庭岳
 樽前山
 風不死岳
 紋別岳

20 | **ネイチャーウォッチング**

22 | **温泉めぐり**

26 | **アウトドア・アクティビティ**
 支笏湖自然体験
 キャンプ
 ダイビング・カヌー
 フィッシング
 サイクリング

28 | インタビュー
支笏湖に魅せられて

30 | **チップ料理／支笏湖グルメ**

34 | **交通アクセス**

35 | **広域MAP**

表紙のことは

よく晴れた冬の空を、水中から見上げる。透き通った湖水はまるでレンズのように、青空をクリアに切り取ってくれた。

(写真提供／オーシャンデイズ)

企画・発行／**国立公園支笏湖運営協議会**
 監修／千歳市、一般財団法人 自然公園財団 支笏湖支部
 写真提供／先田次雄、オーシャンデイズ、千歳市
 イラスト／村上玖実子

編集・デザイン・印刷／総合商研株式会社
 (初版／2015年4月発行 第2版／2016年4月発行)

千歳 支笏湖 検索

※掲載している情報は2016年4月1日現在のものであり、変更される場合があります。

©本誌に掲載している写真・図版・記事などを許可なく無断で転載することを禁じます。

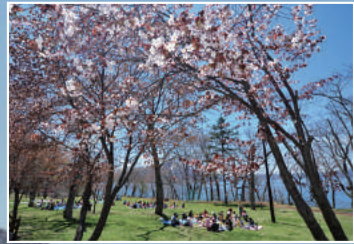




春

Spring

5月になっても平均気温は10℃を下回るので、
沢筋の残雪はまだ深い。



支笈湖温泉園地のエゾヤマザクラが満開を迎えた。支笈湖の行楽シーズンが始まる。



湖面に浮かぶチップ釣りのボート。6月から8月
いっぱいまで、こうした風景に出会える。

雪解けと芽吹き、新たな出会いの予感

芽吹きの春。林床にフキノトウやフクジュソウが顔を出し、山腹にはキタコブシの白い花がポツリポツリと咲いている。にわかに瑞々しさを増した水辺には、エゾサンショウウオの卵。小鳥たちにとっては恋の季節。さえずに包まれた野鳥の森は、観察の適期だ。

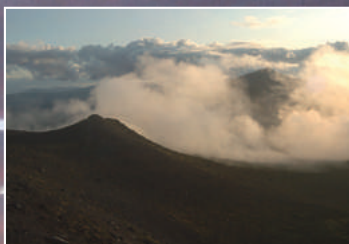
ウメが咲きサクラが咲く、という風情がある本州に比べると、北の春は少しせわしないかもしれない。エゾヤマザクラが開花するころから、花と緑が競うかのように一斉に、森を華やける。冬の間に蓄えた生命力を、一気に「爆発」させるかのような力強さが、ここにはある。



夏

Summer

モラップキャンプ場から眺めた夕日。シルエットになっている一番高い山は恵庭岳だ。



霧が発生しやすいのも夏の特徴。樽前山から、火口原方面を望む。



豪雨の後で濁りの影響を受けると、湖水がエメラルドグリーンに見えることもある。

輝く湖面、吹き渡る風爽やか

オフシーズンは静けさに包まれる湖畔のキャンプ場が、ひとときの賑わいを見せる季節。夏の光に照らされた湖面は「支笏湖ブルー」とも言われる、深く澄み切った青色をたたえている。

もし、遊覧船やボートに乗る機会があったら、湖面を覗き込んでほしい。断崖を歩くような

浮遊感にきっと驚くはずだ。支笏湖の透明度と水深を瞬時に理解できるだろう。

夏から秋にかけては、夕日が美しい。刻一刻と表情を変える空の色と湖への映りこみは、落陽の後も余韻に浸っていきたくなるような魅力に満ちている。



秋

Autumn

湖面から大きな虹のアーチが立ち上がった。山裾は紅葉の真っ盛りだ。



紅葉が始まった支笏湖温泉の遊歩道。真っ先に赤をまとうのはナナカマドだ。



薄雲がかかった秋の空を赤く染めながら、陽が沈んでいく。中央やや右は恵庭岳。

つかの間の休息を前に、木々燃える

ナナカマドに、イタヤカエデ、ヤマモミジ。9月の半ばを過ぎると、樽前山の頂上から下山してくるかのように、山々に少しずつ赤みが差してくる。

この時期、札幌近郊で屈指の紅葉の名所として知られる支笏湖には、多くの観光客が訪れる。

吐く息が白むころ、森に色とりどりの落ち葉

のカーペットが敷き詰められたら、冬支度は完了。来る長い冬を思いつつ、木々は静かに休息を始める。その足元で、エゾリスたちは冬の蓄えを集めるのに忙しい。

早朝に霜が降りるようになると、冬の入り口はすぐ目の前だ。



冬

Winter

支笏湖温泉の湖畔から樽前山を見やる。栈橋の手すりに、びっしりと無数のつらら状の波濤が並ぶ。



波しぶきは湖岸にまで飛来し、草の茎などに着氷する。少しずつ育つと、丸みのある氷となる。



冬の風物詩、氷濤まつり。しぶき氷と同じ原理で、骨組みに湖水を吹きかけて氷のオブジェを作る。

寒風鋭く、耐え忍ぶ木々に命を見る

森はひっそりと静まり返り、木々の冬芽は、芽吹く日をじっと待っているように見える。しかし、耐え忍ぶだけが冬ではない。この季節にだけ出会える景色がある。

うねりと高波の湖。その翌朝に見られる、厳冬期の不凍湖ならではの現象が「しぶき氷」。

栈橋ではつらら状に、地面には球状に形づくられた透き通った氷は、まさに自然の芸術。これを人の手でダイナミックに再現した「千歳・支笏湖氷濤まつり」は、冬の一大イベントだ。

固く凍っていた土が緩みはじめると、いよいよ待望の春がやってくる。

支笏湖 — 透き通る神

水深363m、日本最北の不凍湖

アイヌ語の「シ・コッ」(大きな窪地)に語源を持つ支笏湖は、およそ4万年前に起きた激しい火山活動によってできた支笏カルデラに水が溜まり誕生した。噴出した火砕流は20km以上離れた札幌市の南部にまで到達した。

爆発の激しさを物語るかのように水深は深く、最大水深363mは秋田県の田沢湖に次ぐ全国2位。深さゆえに湖面が凍結することは稀で、日本最北の不凍湖と言われる。水中の栄養分が少ない「貧栄養湖」に分類されており、プランクトン



の発生が少なく、透明度は高い。平成14年には30.7mという記録があるほどで、常に国内のトップクラスに位置している。ちなみに、環境庁の調査によると、国内では透明度5m以下の湖沼が圧倒的多数を占めるということだ。

この透明度を違った角度から眺められるのが例年2月に開催される「千歳・支笏湖氷濤まつり」。湖がらくみ上げた水を噴霧して作られる氷のオブジェは、日中は淡いブルーをたたえ、夜にはライトアップされて幻想的な表情を見せる。また、厳寒期には湖畔の枝や小石に付くしぶき氷を見ることができる。強風で飛散した湖水がつらら状や球状、さまざまに形を変える自然のアートは、この季節の風物詩だ。

秘の泉

清澄な水と豊かな森が支える命

支笏カルデラができた後、風不死岳、恵庭岳、樽前山が誕生した。その裾野には、火山活動の影響を受けた森林が見られる。湖畔の丘陵地には広葉樹林、さらに標高が上がるると針葉樹が混ざり、さらに標高が上がるるとダケカンバが優勢になり、恵庭岳や樽前山の山頂付近には高山植物が生育している。豊かな森は、多様な生態系を作る。命の営みを、緑のなかで感じてほしい。

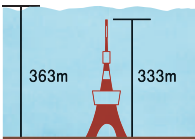
もっと知るなら… 支笏湖ビジターセンター

写真パネルや模型、ジオラマなどで支笏湖周辺の自然を解説するビジターセンター。自然を「感じる」ことから一歩進んで、「理解する」ことで、国立公園での時間をより豊かに過ごすことができる。



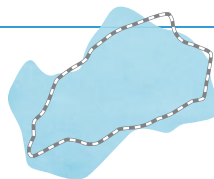
所在地 / 千歳市支笏湖温泉
開館時間 / 4～11月 9:00～17:30、12～3月 9:30～16:30
入館無料 ☎0123-25-2404
休館日 / 12月～3月：火曜日（休日の場合は翌日）、年末年始
HP アドレス / <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

比べて支笏湖



最大水深 363m

東京タワー(333m)が
すっぽり入る



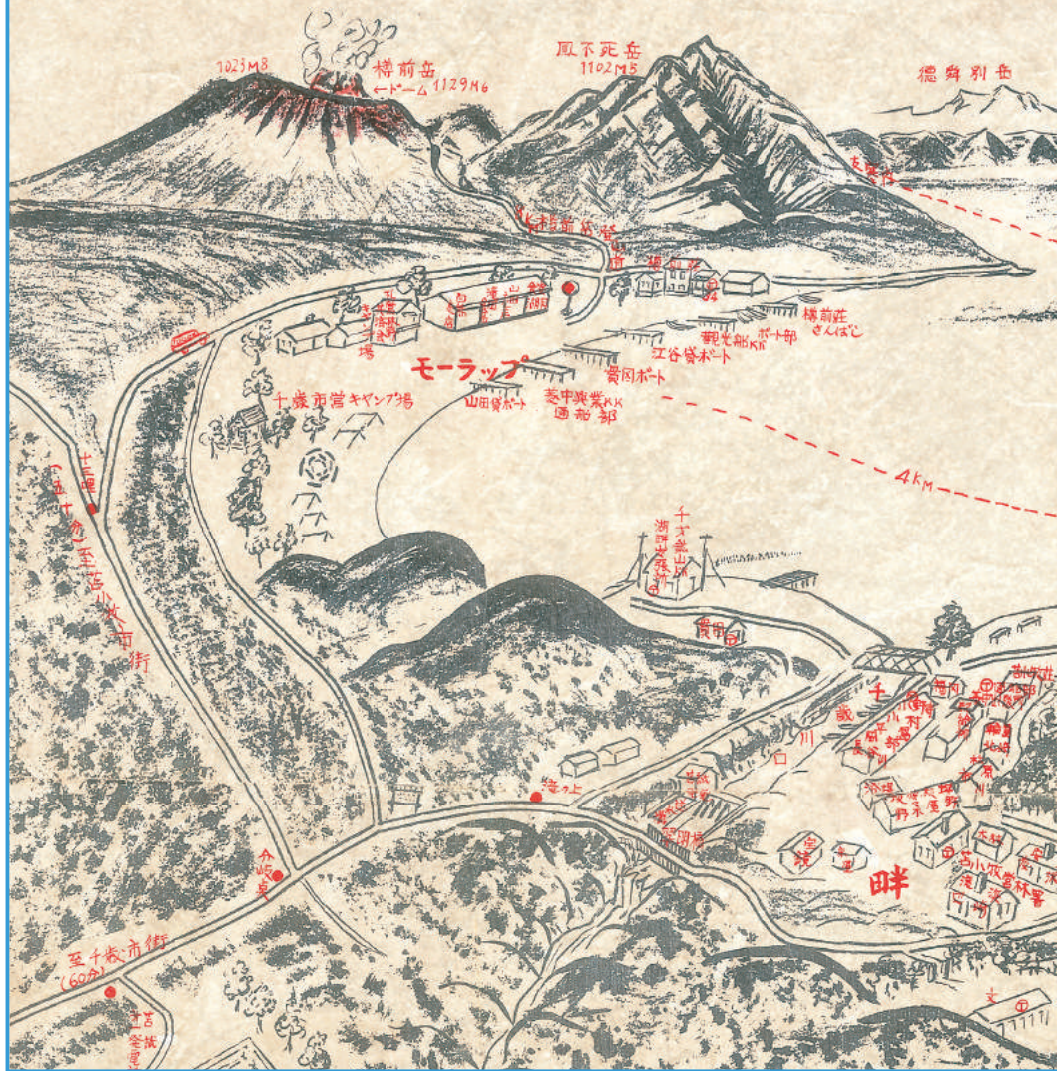
周囲 約40km

JR山手線(34.5km)が
ほぼ収まる

唯一不変なるもの。

これは、昭和30年代前半のものと思われる湖畔の地図だ。湖畔に飲食店街やホテルがあるのは現在と変わらないが、園地一帯に民家が集中しているのがわかる。モーラップに並ぶ多くの桟橋を見ても、往時のにぎわいが想像できるだろ

う。「釣りに舟遊に都会の騒音を避けての1日の清遊は明日への活力源となることでありましよう」との説明文が添えられていることから、支笏湖の豊かな自然が人々を癒していたことは、今も昔も変わらないようだ。





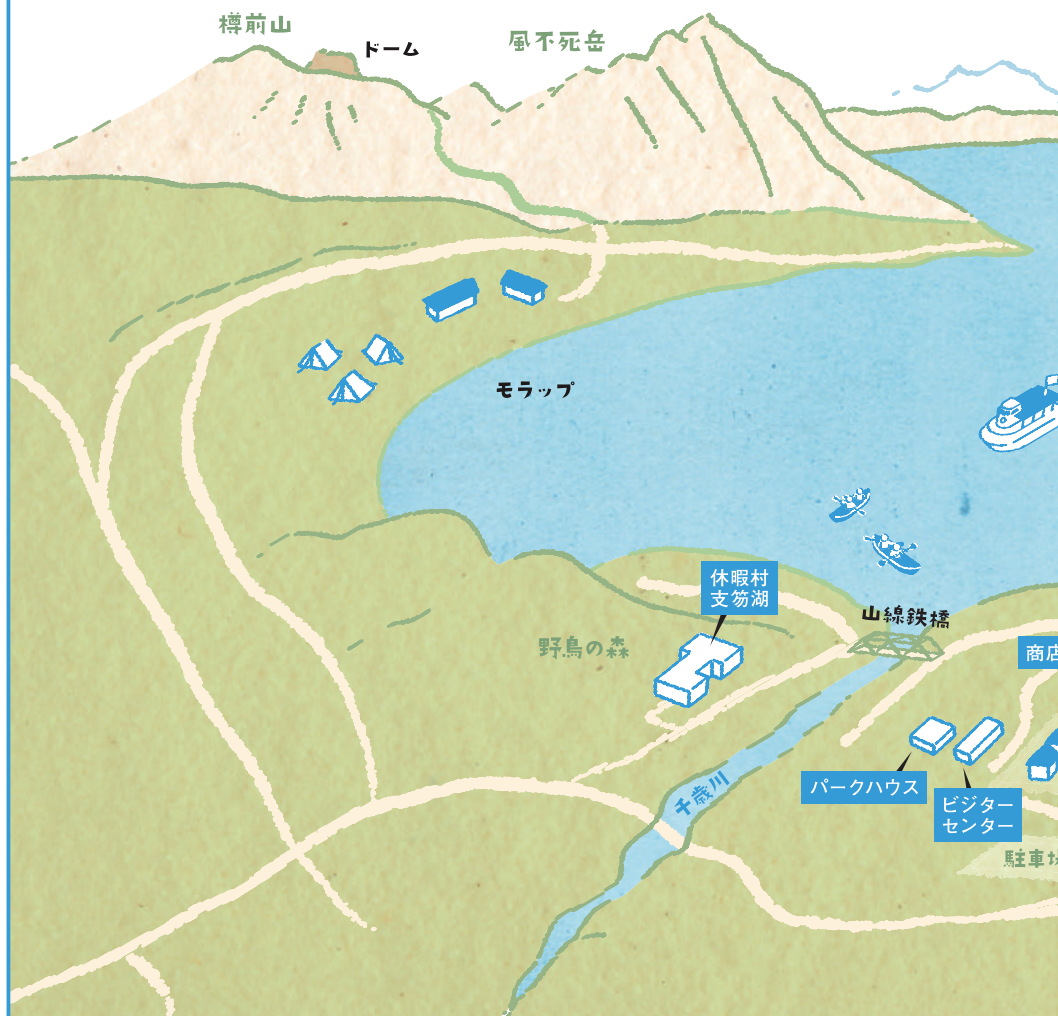
昭和28年5月ごろ、国立公園指定後の湖畔。湖上手漕ぎボートがひしめき合う、昭和38年6月ごろのチップ釣りの様子。



支笏湖畔みどころMAP Lake Shikotsu map

そして現在の支笏湖畔。観光の中心が支笏湖温泉に集約されているのは昔と変わらない。昭和54(1979)年に開設され支笏湖の自然情報が集約されているビジターセンターは、支笏湖観光の拠点となっている。

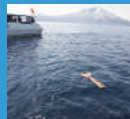
いまでは、より多くの人が、自然を見るだけでなく「触れる」ことを求めている。その機運に呼応するかのように、ダイビングショップやカヌーガイドのように、湖をもっと近くで感じられるアクティビティを提供する店も現れた。





支笏湖のイベント Lake Shikotsu Event

- 4月中旬 湖水開き
遊覧船の船上から大きな鍵が投げ入れられ、1年の安全を祈願する。
- 6月下旬 湖水まつり
チップの解禁に合わせて開催。花火が夏の夜を幻想的に彩る。
- 10月中旬 紅葉まつり
秋の収穫祭・感謝祭。訪れた人たちに名物のチップ汁などが振る舞われる。
- 1月下旬～2月上旬 氷まつり
昼と夜とでまったく異なる表情を見せる巨大な氷のオブジェに魅了される。



湖水開き



湖水まつり



紅葉まつり

支笏湖周辺の自然

Nature around
Lake Shikotsu



悠久の時間が作る奇景

苔の洞門

元文4（1739）年の樽前山大噴火の噴出物が堆積してできた溶結凝灰岩が大雨などによる土石流で侵食されてできた涸沢。岩壁にエビゴケやオオホウキゴケなど約80種の苔が密生して

緑の回廊を成し、独特の幻想的な景観を作っている。自然災害のため落石の恐れがあり内部には立ち入ることはできないが、例年は6月上旬～10月下旬に観覧台から見学できる。

立ち入りを拒む秘湖

オコタンペ湖

恵庭岳の西山麓にある、エメラルドグリーンの水をたたえたせき止め湖。深い森に囲まれ、アクセスが困難なことから北海道三大秘湖の一つとも言われる。湖面に下りることは禁止されているが、道道78号沿いにある展望台から眺めることができる。





荒々しい力強さを見せる
恵庭岳

三角錐の力強い山容をした、標高1,320mの活火山。頂上に到達すると、まゆ型をした支笏湖の全景を望める。緩やかな林道から岩場や急登まで、変化に富んだルートは上りで約3時間半。登山口は、ポロピナイから国道453号を1kmほど札幌方向へ進むとある。



オコタンベ湖越しに見る恵庭岳。



独特の山容が登山客に人気
樽前山

山頂にプリンのような形をした溶岩ドームを持つ、標高1,041mの活火山。登山口のある7合目で車で行けるため、ピークまで1時間弱。比較的なだらかな登山道では、イワヒゲやタルマイソウなど、季節ごとに咲き誇る高山植物が目を楽しませてくれる。



噴煙を上げる溶岩ドーム。



雄大な風景を頂上から
風不死岳

標高1,103m、荒涼とした雰囲気、雄大な風景を頂上から望める。山頂からは、恵庭岳を背景にした支笏湖を見下ろすことができる。樽前山7合目の登山口から「お花畑コース」と呼ばれる樽前山の裾を通るルートが一般的だ。

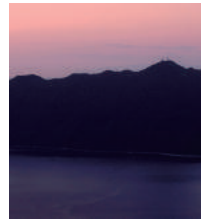


雪をいただいた初冬の風不死岳。



頂上から札幌・石狩湾を一望
紋別岳

支笏湖温泉の北側にそびえる標高866mの紋別岳。山頂に通信用アンテナが立っているのが目印だ。所要時間は上りで2時間、下りで1時間ほど。加えて、登山口が温泉街からほど近いので、比較的気軽に登頂できるのが魅力だ。山頂からは北側に札幌方面を一望できる。



夕間に浮かび上がる紋別岳。



支笏湖周辺 ネイチャー ウォッチング

エゾエンゴサクやエゾヤマザクラの花が春を告げると、小鳥の恋の歌が響く新緑の季節。山々が深い緑に包まれる夏には、イカルやキビタキなど多くの夏鳥が飛びかう。そして紅葉の秋、すべてが静かに息づく冬。命の営みが、支笏湖の四季を豊かに彩る。



ナニワズ [ジンチョウゲ科]

早春に黄色の小さな花を咲かせる、落葉小低木。



タニウツギ [スイカズラ科]

ラッパ状の花が密集する。紋別岳でよく見られる。

チトセバイカモ

[キンポウゲ科]

千歳川や支笏湖に群生する水生植物。夏にウメに似た花を咲かせる。



シラネアオイ

[シラネアオイ科]

高さ20~50cmの多年草。野鳥の森や風不死岳などで見られる。

エゾエンゴサク

[ケシ科]

雪解けとともに開花し、林床を青く染める。



オオバナノ エンレイソウ

[ユリ科]

5~6月に特徴的な白い花を咲かせる多年草。



イワブクロ [ゴマノハグサ科]

砂礫地に生育する高山植物。別名タルマイソウ。



ヒグマ [クマ科]

体長2mにもなる日本最大の陸生生物。
風不死岳の森林地帯にしばしば出没。

キタキツネ [イヌ科]

北海道に広く分布。冬も活動し、雪の上に直線状の足跡を残す。



エゾリス

[リス科]

昼行性でおもに樹上で生活する。冬眠はしないので、冬でも観察できる。



エゾモモンガ [リス科]

夜行性で樹洞に巣を作り、木から木へ滑空して移動する。



エゾシカ [シカ科]

本州以南のシカより体が大きい。冬季に国道453号沿いで多く見られる。

ヤマセミ

[カワセミ科]

千歳川で水面近くを飛ぶ姿が見られる。千歳市の鳥に指定されている。



イワツバメ

[ツバメ科]

夏に南方から飛来し、温泉街のホテルの軒下などに営巣する。



オオルリ [ヒタキ科]

春から夏、休暇村園地や千歳川沿いで見られる。



クマゲラ [キツツキ科]

通年見られるが、個体数が少なく国の天然記念物に指定されている。



野鳥観察の拠点

支笏湖 野鳥の森

キムモラップ山の西側の山腹一帯は、野鳥の森として探勝路などが整備されている。休暇村裏手の観察舎からは、さまざまな野鳥たちに出会えるだろう。



温泉めぐり

水澄むところ、名湯あり

Hot Springs

地中深くから湧出する温泉は、湖の成り立ちとも関係が深い自然の賜物。支笏湖の温泉宿としては、北西岸にそびえる恵庭岳の麓に位置する一軒宿の丸駒温泉と、東岸に5軒の温泉旅館が集まる支笏湖温泉があり、泉質の異なる温泉が楽しめる。どの宿も上質で洗練されたくつろぎを提供する、大人の宿といった雰囲気を醸し出す。いわゆる「温泉街」的な華やかさはないかもしれないが、かえて自然と調和した、温泉そのものの魅力が引き立てられている。



とろりとした新しいお湯が湧出

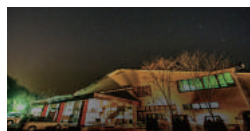
昭和50(1975)年に温泉の配湯が開始された支笏湖温泉だが、近年では湧出量が減少していた。そこで平成24年から温泉の開発に着手、平成26(2014)年4月に新しい泉源から、支笏湖温泉の各宿への配湯が始められた。その特徴は、旧泉源に比べて温泉成分がたっぷり含まれていること。泉質は、従来の「美人の湯」として定評のあった「ナトリウム-炭酸水素塩泉」に温まり効果が期待できる成分が加わった「ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉」。



湖とつながる天然露天風呂

支笏湖 丸駒温泉旅館

大正4年創業の老舗旅館。名物の天然露天風呂は浴場と湖を岩場で隔てただけで、約50°Cの源泉が足元から湧出し、水位は支笏湖に合わせて上下する造りとなっている。湯温調整は湖につながる水門で行うという、野趣あふれる雰囲気の人気。



恵庭岳の麓の深い森に佇む一軒宿。支笏湖畔ではもっとも古い歴史を持っている。

千歳市支笏湖幌美内7
日帰り入浴 / 10:00~15:00
TEL / 0123-25-2341
<http://www.marukoma.co.jp/>

日帰り入浴可



森に囲まれた静けさの宿

休暇村支笏湖

大自然の表情を感じられる公共の宿。野鳥の森に隣接しているため、一年を通して施設内から小鳥を観察できる。小高い丘の上にあり、広場から見下ろす支笏湖も格別。日帰り入浴も可能で、気軽に支笏湖の名湯に浸れるのがうれしい。



支笏湖温泉のなかでは、宿泊料金は比較的リーズナブル。

千歳市支笏湖温泉
日帰り入浴 / 11:00~16:00(火)13:00~16:00
TEL / 0123-25-2201
<http://www.qkamura.or.jp/shikotsu/>

日帰り入浴可



季節を感じるおもてなしの宿
支笏湖第一寶亭留
翠山亭

「全29室だからこそできること」をモットーに、きめ細かでのこもったおもてなしを提供。プライベート感覚でゆっくりとくつろげる、落ち着いたある温泉宿だ。露天の岩風呂や古代ヒノキの内湯のほか、貸切風呂も備える。



周囲の自然となじんだ外観。

千歳市支笏湖温泉
TEL/0123-25-2323
<http://www.shikotsuko-daiichi.com/>

日帰り入浴可 ※ランチとのセットのみ(要予約)



支笏湖のさざなみをBGMに
レイクサイドヴィラ
翠明閣

客室はすべてレイクビューの8部屋だけ、という贅沢。露天風呂は部屋ごとの貸切制になっているので、目前に広がる支笏湖の風景を一人占めに。温泉街の中心から離れて、湖を間近に眺める立地。吹き渡る風、さざなみの音が心地よい。



すべて天然温泉を備える8室の客室。

千歳市支笏湖温泉
TEL/0123-25-2131
<http://www.suimeikaku.jp>

日帰り入浴可 ※ランチとのセットのみ(要予約)



洗練されたリゾートスパ

しこつ湖鶴雅リゾートスパ
水の譚

支笏湖の水の恵みに着目し、癒しと健康をテーマにした洗練されたスタイルのリゾートホテル。旬の素材・地元の食材をふんだんに用いたヘルシービュッフェやエステ、フィットネスなど女性に嬉しいサービスが魅力。



エントランスは支笏湖の駐車場に面する。

千歳市支笏湖温泉
TEL / 0123-25-2211
<http://www.mizunouta.com/>

日帰り入浴可 ※ランチとのセットのみ(要予約)



5組限定の静かなひととき

オーベルジュ
支笏湖翠山亭倶楽部

宿泊は1日5組限定。支笏湖畔にひっそりと佇む、翠山亭別館のオーベルジュ。千歳近郊の新鮮野菜や噴火湾から毎日届く新鮮な海の幸を味わえる。本館の翠山亭の温泉を利用でき、車で送迎してくれる、うれしいサービスもある。



家具・調度にまでこだわった客室。

千歳市支笏湖温泉
TEL / 0123-25-2323
http://www.jyozankei-daiichi.co.jp/s_club/

アウトドア・アクティビティ Outdoor Activities



選べるプログラムで自然の豊かさを体験
支笏湖自然体験

夏・秋

トレッキングやウォーキング、サイクリング、カヌー、ダイビングといった多彩なメニューを体験できる窓口となるのが「支笏湖体験物語」。支笏湖の自然の豊かさを、心と体にかけて。

支笏湖温泉旅館組合事務局
(休暇村支笏湖内)
TEL/0123-25-2201

名峰樽前山登山 東ピークピストンコース

荒々しい山頂の景観と、眼下に見る支笏湖、地球の胎動を肌で感じられる。



春～秋

支笏の森 朝の散歩会

より深く、自然を知る。ガイド同行による自然観察&バードウォッチング。



秋～冬

支笏の森の闇と エゾシカの鳴き声鑑賞ツアー

闇に包まれた森の静けさと、エゾシカの鳴き声を鑑賞するツアー。



冬

スノーシューウォーキング 氷結した滝の鑑賞ツアー

ガイドとともに、降り積もった雪を踏みしめて、凍った名瀑を訪れます。

湖の表情を見つめて

キャンプ

支笏湖畔ではモラップキャンプ場と美笛キャンプ場の2カ所のキャンプ場が開設されている。どちらも湖岸近くでテントを張れ、支笏湖を囲む山々に抱かれてキャンプができる。



支笏湖北東岸に位置するモラップキャンプ場は、明るく開放感があり、ハイシーズンには多くの利用者でにぎわう。



支笏湖西岸の美笛キャンプ場。現在は自然災害のため閉鎖中。問合せ/千歳市観光振興課 TEL.0123-24-0366

湖の温度を肌感じて

ダイビング・カヌー

支笏湖にはダイビングとカヌー、それぞれのショップがある。支笏湖の透明度をもっとも近くで実感できるのがダイビング。時期によっては、満開になった水草の花や、魚の群れに出会えることも。カヌーでは、その透明度のおかげで不思議な浮遊感を味わえるだろう。湖面の風を感じながら漕ぎ出していくと、いつもとは違う景色が待っている。

【ダイビング】

ダイビングショップ オーシャンデイズ

TEL/080-6073-8600(受付8:00~21:00)

【カヌー】

支笏ガイドハウス かのあ

TEL/0123-25-2430



湖面を滑るように進むカヌー。自然と対話するかのように、ゆっくりと。



今まで知らなかった支笏湖へダイブ。初めてでも気軽に挑戦してみよう。

ラインを通した湖との対話

フィッシング

ニジマス、アメマス、ブラウントラウトなどのターゲットが息をする、道内でも屈指のルアー&フライフィッシングの名所。魚影はさほど濃くないが、モンスター級の大型がいることで知られ、13kgを超えるブラウントラウトが釣り上げられたこともある。



無心になって、ロッドを振る。まだ見ぬ大物とのファイトを夢見て。

のんびりと景色を楽しむ

サイクリング

自転車のスピードだから楽しめる景色がある。気がつける匂いがある。千歳市街から支笏湖へ至るサイクリングロードや、縦横に走る林道など、自転車で走るフィールドは豊富。支笏湖ビジターセンターでレンタサイクルを借りることもできる。



散歩気分でペダルを漕いで、五感を満たす小旅行に出かけよう。

支笏湖に魅せられて Interview



ダイビングショップ オーシャンデイズ 板谷 貴文さん

住 / 千歳市支笏湖温泉
TEL / 080-6073-8600 (受付8:00~21:00)

支笏湖で唯一のダイビングショップである「オーシャンデイズ」。代表の板谷さんは21歳でダイビングと出会い、インストラクターとしてのキャリアを沖縄でスタートさせた。

7年間の沖縄生活を経て、地元札幌に同店を設立。支笏湖へ拠点を移したのは平成24(2012)年のことだ。「人との縁があって、ここで支笏湖唯一となるダイビングショッ



支笏ガイドハウス かのあ 松澤 直紀さん

住 / 千歳市支笏湖温泉
TEL / 0123-25-2430

優雅に湖上を滑り行くカナディアンカヌー。支笏湖にカヌーが浮かぶ様は、それだけでも絵になる風景だ。そこに四季折々の景色が加わったら…。

かのあ代表の松澤さんは、恵庭のアウトドア専門学校を卒業後、沖縄や洞爺湖でのカヌーガイドを経て24歳のときに独立し、支笏湖へ居を移した。その経緯を松澤さ



子どもの体を思い札幌から移住 亀田 冬樹さん一家

豊かな自然環境に魅入られて、平成25(2013)年に札幌から支笏湖に移住した亀田さん一家。移住のきっかけは長男の興太郎さんと次男の憲之介くん、2人の子どものぜんそくだった。

「札幌に住んでいたころは、運動ができないくらい発作がひどかったのが、移住してしばらくして体調は良くなりま



ブを立ち上げました。ダイビングのできる淡水湖は、国内でも本当に数が少なく貴重なんです」と板谷さん。

オーシャンデイズのプログラムは多岐に渡る。まったくの初心者でも、基本的なレクチャーから始めてもらえるので安心だ。冬季の凍結した湖に潜る「アイスダイビング」や秋のヒメマスの産卵を観察するダイビング、千歳川でのシュノーケリングやダイビングなど、季節ごとに表情を変える支笏湖の魅力を存分に体験できるメニューがそろっている。

「支笏湖にベースを置いているので、僕らにしか行けないポイントを案内できるのが強みです。また、地元と連携した安心の

体制を敷けるのもメリットです。水質日本一の湖ですから、大きな見どころは水の透明度。冬は特に透明度が高いですね。夏にはチトセバヤカモの群生、秋には婚姻色に染まったヒメマスなど、季節ごとに出会いがあります。ダイビングに限らず、スノーシューやネイチャーウォッチングなど自然とのふれあいを提供していきます。

平成26(2014)年5月には、支笏湖温泉の商店街でゲストハウス「シコツカムイ」を開業させた。素泊まりで3,000円からという低価格で、高級旅館が並ぶこの地域に新しい風を吹かせる。

んはこう話す。「札幌という人口密集地に近いのに、手付かずの自然に恵まれているところが支笏湖の魅力。そして、地元根ざしたカヌー業者が少なかったことから、支笏湖ビジターセンターの所長や商店街の方から熱心なお誘いを受けて、ここでガイドを始めることにしました」。

水の上から眺める世界とは。「季節ごとに変わる支笏湖の景色がカヌーの楽しみですが、お勧めは初夏。雪解けが終わり水が透き通り、新緑が映りこんで水面が鮮やかに染まります。冬は湖上から山の生き物を見るのに一番の季節です。シカやキツネ、ウサギ、オジロワシに出会えることもあります」。

敷居が高く見えるカヌーだが、乗り方をしっかりレクチャーしてくれるので初心者でも乗るのは難しくないという。たとえ上手く漕げなくても、景色は楽しめることもカヌーの魅力かもしれない。そんなカヌーを身近に感じられる、かのあのプログラムは、支笏湖をカヌーで「散策」し、途中で岸に上陸(天候次第では船上で)し、ティータイムを取る「Soto Caféカヌーツアー」をはじめ、家族で1つのカヌーに乗るツアーや団体でのツアーなど幅広い。

さえぎるもののない湖の上で、いつもとは違う景色をぜひ味わってほしい。

した」と冬樹さんにはにこやかに話す。

冬樹さんは札幌で会社を経営するプログラマー。週に1~2度、札幌と支笏湖を往復する。「札幌へは約1時間。それほど遠いとは感じません。出張で千歳空港を使うのには便利です。買い物なら、千歳と苫小牧、どちらの市街地にも30分くらいで行けます。不便を感じたことはないですね」と冬樹さん。「この地域では、ほとんどが顔見知りだから、子どもが一人で散歩しても不安は少ないです。支笏湖小学校の全校生徒は16人と少ないので、地域で子どもを育ててくれる感覚。卒業式などのイベントに地域の方が参加するなど、子どもとの関わりが

密接なんです」。妻の久美子さんはそう付け加えた。小学校ではクラブでのシュノーケリングやカヌーなどの体験、ヒメマスの採卵・放流・調理など、支笏湖ならではの学習があり、子どもたちも楽しんでいるという。

平成26(2014)年からは、支笏湖商店街の一角で、「亀田商店」を開店させた。週末とイベントの時期に店を開け、ポップコーンやビール、ジュースなどを販売している。

お話を聞いたのは平日の昼間。撮影が終わるや否や、「いつてきま〜す！」と元気な声を残して、2人の子どもたちは、友達と遊ぶため小学校へ駆けていった。

支笏湖の姫 チップ

【姫鱒】ヒメマス

Oncorhynchus nerka
〈サケ目サケ科タイヘイヨウサケ属〉



生命をつなぐ、自然と人間の共同作業。

ヒメマスとは、淡水域に留まる湖沼残留型のベニザケのこと。地方名「チップ」の由来はアイヌ語で「薄い魚」を意味する「カバチェプ」が訛ったものだとされている。原産は北海道の阿寒湖で、十和田湖(青森県)や芦ノ湖(神奈川県)などにも移植されている。

ヒメマスが阿寒湖から支笏湖に移入された明治27(1894)年以來約120年間、資源の管理が行われ、現在は支笏湖漁業協同組合がその役割を担っている。4年魚を中心



支笏湖の湖岸にあるふ化場。※防疫のため、一般公開はされていない。

とする親魚を捕獲して採卵、人工授精によってふ化した稚魚を5cmほどまで育成して放流するというサイクルで、魚たちは支笏湖の恵みを受けて育つ。いい塩梅に人の手が入って、一定の漁獲が保たれているのだ。

旬は初夏。新鮮で脂の乗ったヒメマスを生で食べるなら漁期の6月~8月がベストだ。サーモンピンクの身は脂肪分を多く含み、川魚特有の臭みは少なく美味。塩焼き、刺身などで、ここだけの味を楽しんでほしい。



ふ化場で5cmほどに成長した稚魚は、屋外の池に移され、放流を待つ。

支笏湖名物
チップ料理

寿司

チップ寿司

御食事処 寿

10:00~20:00 営業期間/4月中旬~11月中旬
※氷溝まつり期間中は営業 TEL/0123-25-2642

1日10食限定の姫ます焼きセットは、姿焼きや寿司(4貫)、マリネ、チップとそばの磯辺巻きなどの6品を味わえる欲張りなメニュー。チップの魅力存分に楽しめる。



姫ます焼きセット

焼

刺身



ひめます刺身

お食事処 支笏荘

11:00~18:00 営業期間/通年 不定休
TEL/0123-25-2718

創業60年以上になる老舗。ひめます定食は、姿焼きと刺身のお得なセット。半身のチップをフライでいただくひめますランチも。店主が釣り上げたチップが登場することも。



ひめます定食

ひめます姿焼き

揚

トントン食堂

11:00~15:30
営業期間/4月上旬~11月上旬
不定休 ※氷溝まつり期間中は営業
TEL/0123-25-4011

看板メニューの姫ます天丼。サクサクの衣に包まれたジューシーなチップは、食べ応えあり。エスカロップも人気。テーブルによってはジンギスカンも食べられる。

姫ます天丼

丼

支笏湖観光センター ポロピナイセット

9:00~18:00 営業期間/4月上旬~10月31日
TEL/0123-25-2041

ポロピナイの「支笏湖観光センター」で提供されている。店主が釣り上げたチップを、シンプルな塩焼きとサクッと揚げたフライでいただくセット。



支笏湖
グルメ
アラカルト

阿寒産鹿肉の
噴火ハンバーグ

肉質むっちり食べ応えアリ
エゾシカのハンバーグ

1日限定10食の鹿肉ハンバーグは
特有の臭みがなく、むっちりとした
肉質で美味。セット(ミニサラダ、ラ
イスまたはパン付)1,500円も。

memere(メモール)

10:30~17:00

営業期間/通年 不定休

TEL/0123-25-2731



マフィン各種

支笏湖温泉の新顔は
マフィン専門店

2016年4月末にオープン。食べ応えのある大型のマフィン
を10種類ほどそろえる。「外で湖を見ながら食べてほしい」
という店主の思いから、テイクアウトもOK。

ペンネンノルデ

10:00~17:00

営業期間/通年 不定休

TEL.0123-25-4020



豚丼

レトロな店内で

本格派のラーメン&豚丼を

千歳市内でラーメン店を営んでいた店主が、念願叶って
2015年にオープンさせた。メインメニューはヒメマスの魚
醤を使ったラーメンと、道産豚肉を炭火で焼いた豚丼。

昭和物産

11:00~22:00

(冬季17:00まで)

営業期間/通年 休なし





チョコレートケーキ
ブレンドコーヒー

居心地のよいログハウスでコーヒー片手に読書でも

オススメのコーヒーとケーキのセットは飲み物料金+200円。ログハウスのお店に泊まることも可能(1泊朝食付5,500円)。

ログ ベアー

9:00~22:00 営業期間/通年 不定休
TEL.0123-25-2738



キャロットケーキ

カヌーイストの手作りケーキ

カヌーガイドの拠点に加えてカフェとしても営業する、かのあ。カヌーがディスプレイされた店内で、優しい味わいの手作りのケーキとコーヒーを楽しんで。

支笏ガイドハウス かのあ

9:00~17:00
営業期間/通年 不定休
TEL/0123-25-2430



プリン

ホールから切り出す ケーキのようなプリン

卵、ミルク、砂糖だけを使った甘さ控えめの自家製プリン。直径20cmの型で焼き上げているので、チーズケーキのような見た目。



カフェアウル

9:00~17:00
営業期間/通年 水曜休
TEL/0123-25-2590



交通アクセス

Access to Lake Shikotsu

北海道の主要玄関口からアクセス良し

札幌や新千歳空港など道央の拠点から利用しやすい位置にある支笏湖。札幌から新千歳空港への道中で立ち寄るのが定番だが、2泊以上なら、支笏湖・洞爺湖・積丹半島の国立・国定公園周遊することも可能。

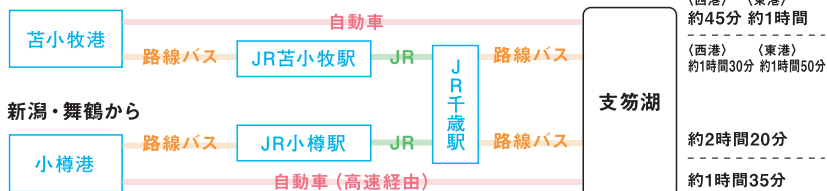


JR Train



フェリー Ferry

- 八戸・秋田・仙台・新潟・大洗・名古屋・敦賀から



バス Bus



お問い合わせ先

新千歳空港
 ☎0123-23-0111

JR北海道 電話案内センター
 ☎011-222-7111

北海道中央バス 千歳営業所
 ☎0123-23-2171

新日本海フェリー
 (小樽航路、苫小牧-秋田・新潟・敦賀航路)
 ☎011-241-7100

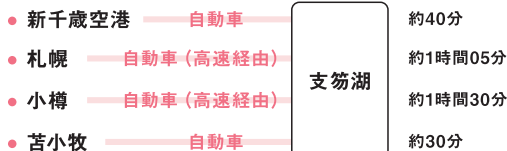
シルバーフェリー (苫小牧-八戸航路)
 ☎011-241-8268

太平洋フェリー (苫小牧-仙台・名古屋航路)
 ☎011-281-3311

商船三井フェリー (苫小牧-大洗航路)
 ☎0144-34-3121



自動車 Car



広域MAP Wide-area map



国道 — JR線 — 有料道路

日本一の水を、 おいしさの源に。

太陽をいっぱい浴びた北海道の果実ハスカップの酸味を生かした、さわやかな味わいのゼリー。

HASKAPP JELLY
太陽いっぱいの
ハスカップゼリー

※湖沼水質ランキング8年連続No1。(環境省調べ)



お菓子作りの決め手は、支笏の伏流水。

支笏の伏流水であるナイベツ川の湧き水は「名水百選」の認定(*)を受けている「おいしい水」です。千歳市泉沢にあるもりもとの工場では、この支笏の伏流水を使用しています。北海道のめぐみを大切にし、新鮮な素材や製法にこだわり、食べる方の笑顔を思いながら、日々上質なお菓子づくりに励んでおります。

※1985年環境省認定。

皆様に愛され続け、今年で67年目を迎えました。

【もりもと本店】

千歳市千代田町4丁目12-1 / ☎(0120)24-4181

もりもと



もりもと公式
Facebook もチェック!

こだわりのもり、おいしさのもと

PÂTISSIER

**mori
moto**

